

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		政策経営部一般管理				整理番号	2		枝番号			
担当部課名		政策経営部企画課		コード	000100		連絡先電話番号	1415		昨年度整理番号	2	
係名				上位施策名				No				
予算事業名		政策経営部一般管理		コード	00700		創造的な政策形成と行政改革の推進				75	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成			13 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他			(1) 杉並区組織条例								
	職員、組織(課)			(2) 杉並区職員の旅費に関する条例								
				(3)								
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
事務事業・予算・各種調査等の部内調整事務 事務事業を執行していくために各職員が必要とする事務用 消耗品類の購入、出張旅費の執行、その他組織の維持運営 その他の連絡調整事務					的確かつ迅速な政策形成・課題解決を図る 庶務的経費を効果的に経理し、部内業務の効率的執行を 図る							
活動指標名(式)					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 政策経営部職員数					(1) 予算執行率							
(2)					(2)							
区分	単位	15年度 実績	16年度 実績	17年度		18年度 計画	目標値 22年度	目標値に対 する17年度 の達成率%				
				計画	実績							
指標	活動指標(1)	人	243	244	246	244	249					
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	%	72	75	100	62	100	100	62.3			
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	4,242	3,753	5,311	3,310	5,340	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)投資的経費等	千円										
	(内)委託費	千円	63	63	63	63	63					
	職員数(常勤 非常勤)	人	2.21 0.00	2.31 0.00	1.70 0.00	1.80 0.00	1.50 0.00					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	19,877	21,021	15,402	16,308			13,590		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0		
	総事業費 + +	千円	24,119	24,774	20,713	19,618	18,930					
	単位あたりコスト(-)÷	円	99,255	101,533	84,199	80,402	76,024					
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0			0		
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0			0		
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引:一般財源 -		千円	24,119	24,774	20,713	19,618	18,930					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
17年度の主な取組み	内 容				規模	単位	事業費(千円)					
	旅費				11	課	1,225					
	管理事務(再生紙・インク等消費費の購入、製版印刷費賃借等)				11	課	2,085					
	その他 ()						0					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	99.2	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	62.3
コピー用紙代などの事務用品を前年より削減することができた。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成13年4月1日の組織改正で5部制がとられたことで、部内調整機能がより重視されてきている。平成15年度の組織改正で危機管理室が政策経営部内に置かれた。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)					
	今後の予測	現在検討中の庶務システムが導入される。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 部内調整を通じて各課の円滑な事業遂行を支援することができる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか 成果向上のための方策	理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 内部管理のための経費であり、受益者負担は生じない。				
	(4) コストを下げ余地はあるか	理由または具体的内容:				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題: 製版印刷機保守について委託。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)					
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入					
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	文書管理システムの導入などにより、可能な部分は電子化を進めており、紙使用量の大幅な削減は見込めない。また旅費に関しても、必要額が大幅に変更することはないため、予算額は大きく変更しない。				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		企画・調整				整理番号	3		枝番号					
担当部課名 政策経営部企画課		コード	000100		連絡先電話番号	1415		昨年度整理番号	3					
係名		上位施策名						No						
予算事業名 企画・調整		コード	00900		創造的な政策形成と行政改革の推進				75					
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		52 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業									
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等											
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区組織条例 (2) 杉並区経営会議等の設置及び運営に関する規則 (3) 杉並区主要事業等進行管理規則											
	組織(部・課)、区民		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 基本構想実現のため、調査・研究及び調整を行う。実施計画を改定する。区的意思決定のため経営会議・政策調整会議を開催する。区長が決定した事務事業について、進行管理を行う(中央進行管理)。すぎなみの魅力を高める施策を検討・実施する(すぎなみ学倶楽部・すぎなみの輝き度向上)		時代の変化に的確に対応し、計画的で効率的な行政運営を行う。区民が地域への愛着を持つ。											
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標												
(1) 経営会議・政策調整会議付議案件数		(1) 区民の区事業・サービスに対する満足度 (区民意向調査「とても満足」「まあ満足」の割合の合計)												
(2) 実施計画執行率(決算額 / 計画額)		(2)												
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
							計画	実績						
指標	活動指標(1)		件	235		333		220	346	220				
	活動指標(2)		%	95.3		105.1								
	成果指標(1)		%	75.8		71.5		80.0						
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,345		6,473		26,314		13,520		7,307	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) すぎなみ学倶楽部(杉並の魅力発信するWebサイト構築)、すぎなみの輝き度向上経費を17年度新規計上。すぎなみ学倶楽部は18年度からすぎなみ地域大学担当へ所管変更。	
	(内)投資的経費等		千円											
	(内)委託費		千円	288		1,897		18,693		6,065		361		
	職員数(常勤 非常勤)		人	4.53	0.00	4.74	0.00	3.60	0.00	3.82	0.00	3.60		0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	40,743		43,134		32,616		34,609			32,616
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0			0
	総事業費 + +		千円	43,088		49,607		58,930		48,129		39,923		
	単位あたりコスト(-)÷		円	183,353		148,970		267,864		139,101		181,468		
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0			0
		国・都等からの支出金		千円	0		0		0		0			0
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0			
差引:一般財源 -		千円	43,088		49,607		58,930		48,129		39,923			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
17年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)				
		すぎなみ学倶楽部(Webサイトの構築等)						1	サイト	7,394				
		すぎなみの輝き度向上検討								4,908				
		その他 (コピー機使用料、事務用品購入等)								1,218				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の17年度達成率%	157.3	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	51.4
すぎなみの輝き度向上検討における調査研究委託費が当初見込み額に比べ少なかったため。						
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		区民一人ひとりが地域への愛着を持ち、誇りを持って住み続けたい地域と思えるように、杉並のまちの個性や文化などを「杉並の魅力」として内外に発信していく「すぎなみの輝き度向上」を検討した。「すぎなみ学倶楽部」では「杉並のこういうところが好き」という人たちに参加してもらい、様々な杉並の地域の魅力を掘り下げ、情報を共有し発信しながら、すぎなみへの好意度と愛着度の向上をめざしている。				
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	的確かつ迅速な意思決定を行うため、従来の区政運営会議・庁議等を廃止し、13年度から経営会議・政策調整会議を設置した。13年度組織改正で5部制となった。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	区民から様々な分野について要望・意見が寄せられている。				
	今後の予測	変化する社会環境に迅速かつ的確に対応していく必要がある。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区政の計画的かつ効率的な運営に貢献している。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか 成果向上のための方策	理由または具体的内容:				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 内部的な事務であり、受益者負担の問題は生じない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか	理由または具体的内容:				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題				
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)	すぎなみ学倶楽部およびすぎなみの輝き度向上検討においては、区民等の参加のもと検討を進めた。				
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減		コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減			
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 各部の課題については、できるだけ各部の主体性に任せるようにする。					
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性		<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
	(2) 理由					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		自治体経営改革の推進				整理番号	4		枝番号					
担当部課名		政策経営部企画課		コード	000100		連絡先電話番号	1415		昨年度整理番号	4,5,6,7			
係名				上位施策名				No						
予算事業名				企画・調整		コード	00900		創造的な政策形成と行政改革の推進		75			
事務事業の概要	事業開始年度			○ 昭和 ● 平成		11 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区自治基本条例								
	区の組織・職員、区の政策・施策及び事務事業、杉並区が出資する財団等					(2) スマートすぎなみ計画(行財政改革大綱)								
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)			行政評価(事務事業評価、施策評価、政策評価)の実施 行財政改革の推進(行財政改革実施プラン取組状況の管理) 区民満足向上運動(「めざせ五つ星の区役所」運動)の推進		(3)								
活動目標名(式)			(1) 実施プラン項目数 (2) 事務事業評価の評価対象数		事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか) 区民満足度が高く、創造的で質の高い行政サービスを提供できるよう、強固で弾力的な財政基盤のもと、区役所を少数精鋭主義の簡素で効率的な組織機構として確立させる。									
成果指標名(式)			(1) 職員定数の削減数(平成13年度以降の累計) (2) 事務事業評価表で施策への貢献度を「大」とした事業の割合		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 職員定数の削減数(平成13年度以降の累計) (2) 事務事業評価表で施策への貢献度を「大」とした事業の割合									
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度		目標値	目標値に対する17年度の達成率%		
							計画		実績		22年度			
指標	活動指標(1)		項目	112		114		111		111		112		
	活動指標(2)		件	889		862		900		862		875		
	成果指標(1)		人	337		457		547		548		648	1,000	54.8
	成果指標(2)		%	73.3		75.5		77.0		75.1		77.0	81	92.7
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,134		4,049		6,580		4,810		5,173	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 18年度、専門機関による顧客満足度第三者評価及び評価結果に対するフォロー研修経費は、職員課において算定することとした。	
	(内)投資的経費等		千円											
	(内)委託費		千円	1,384		2,325		3,109		2,274		189		
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.54	0.00	1.85	0.00	2.40	0.00	2.54	0.00	3.50		0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	13,851		16,835		21,744		23,012			31,710
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0			0
	総事業費 + +		千円	16,985		20,884		28,324		27,822		36,883		
	単位あたりコスト(-)÷		円	151,652		183,193		255,171		250,649		329,313		
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0			
差引:一般財源 -		千円	16,985		20,884		28,324		27,822		36,883			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
17年度の主な取組み			内 容				規模		単位	事業費(千円)				
			第三者による顧客満足度調査				30		職場	1,717				
			補助金適正化審査会				11		回	1,218				
			外部評価委員会				3		回	543				
			その他 ()							1,332				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	100.0	活動指標(2)の17年度達成率%	95.8	17年度予算執行率%	73.1
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		16年度に策定した「補助金適正化方針」を踏まえ、17年度には「補助金適正化審査会」を設置し、補助金の個別審査及び評価を実施した。 行政評価のプロセスへの区民参加を進めるため、施策に対する「区民アンケート」を試行した。 スマートすぎなみ計画がめざす自治体経営改革に向け、区民等との協働、民営化・民間委託を推進するため、杉並区独自の「市場化提案制度」を創設することとした。18年度にはまず、学識経験者等7名で構成する「市場化提案制度検討委員会」による制度設計に関する検討を行い、18年度後期には、全事務事業の公表及び提案の公募を行う予定である。 行政評価の予算編成等における一層の活用を図るため、新財務会計システムの構築にあたり、予算と評価の単位を一致させる作業を18年度には具体的に行っていく。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	当初、行財政改革は、事務事業の廃止や見直しなど、行財政システム構造改革を中心に取り組んできた。当面の危機的状況を克服できた現在では、少数精鋭による、分権型社会にふさわしい、効率的な自治体経営が必要となってきた。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	職員定数の削減など、区行財政運営や行財政改革に対する区民の関心は非常に高く、あらゆる過程で区民に対する説明責任の重要性が増している。また一方で、多様化する公共ニーズに対して、区民は、迅速できめ細やかな対応を求めている。					
	今後の予測	地域の諸課題に対し、区は多様な公共サービスの担い手と協働しながら、質の高いサービスを提供していく必要性が増していく。また、区民は公共サービスの結果や成果を重視し、区は、政策形成能力・調整力の向上と十分かついいない説明が求められるようになる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 行政評価をとおした事務事業・施策の見直し、「五つ星の区役所づくり」、行財政改革の推進により、行政運営の効率化を図ることができてきている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 行政評価結果の精度を高め区民等との情報の共有化を図るとともに、自治の時代における「新・区役所」づくりの検討をとおして簡素で効率的な組織に再構築していく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 特定の受益者はいない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [OA化] (具体的内容)	理由または具体的内容: 自治体経営改革については、適正なコストについて一概に論じることはできないが、OAの活用等による省力化などによるコストの逡減を図っていく。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題: 外部評価委員会を設置し、行政評価を主に、行政改革全般について意見等をいただいている。評価の過程への区民参加を推進するなど具体的に取り組んでいくとともに、自治体経営により多くの区民の参画をいただけるようにするにはどのような形態で行えば実効性が確保できるのかなど、今後、様々な角度から検討していく。					
	(3) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どういつかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 予算・決算と連動した行政評価に基づくPDCAサイクルをより効果的に活用し、また18年度に行う「市場化提案制度」の検討・取組み、さらに自治の時代における「新・区役所」づくりの検討を踏まえ、「自治体経営改革」をさらに抜本的に推進させ、スマートすぎなみ計画に掲げた平成22年度の目標達成を目指す。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 例えば、行政評価における事務事業数などからもわかるように、行政の事務事業は多岐にわたるとともに数も膨大で、一般的にはたいへんわかりづらいものとなっている。そこで、簡素で効率的な組織を構築するとともに、区民等に対しわかりやすく情報提供することができ、迅速に課題等に対処することができる、力のある職員を養成していくことが必要である。						
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 13年度から実施してきたスマートすぎなみ計画各種実施プラン、行政評価や「新・区役所」づくりへの取組み、また、市場化提案制度の取組み及び検討結果等を踏まえ、総仕上げとなる最後の3年間(20~22年度)の行財政改革実施プランへの改定を行う予定である。						